

# 春 秋 会



幹事長 太田 昌 孝

## 1. 春秋会の歴史

春秋会は、大正13年（1924年）に創設されて以来、94年の歴史を有します。会名の由来は、春には弁理士会役員選挙のために集まり、秋には弁理士試験合格祝賀会のために集まるから、というものです。当初は、旧制東京高等工業学校（現東京工業大学）の出身者が中心となっていました。現在は出身校や専門分野に関わらず多数の会員が所属しており、約850名の会員を擁しています。

また、昭和48年（1973年）には東海春秋会が設立されました。東海春秋会は、本会の幹事会と別に幹事会を有し、東海地区において独自に活発な活動を行っております。

そして、春秋会は創設以来、日本弁理士会を支えるべく、会長、副会長をはじめとする役員を多数輩出し、委員会や附属機関の委員も多数推薦してきました。今年度は、役員として、副会長1名、執理事務1名、監事1名、常議員8名が活躍しています。

また、各種委員会、並びに附属機関の委員長及び委員等を多数輩出しています。さらに、関東支部、東海支部、日本弁理士協同組合、日本弁理士政治連盟等においても、多数の会員が活躍しております。特に、東海春秋会は、東海支部の運営を支える重要な役割を果たしています。

## 2. 春秋会の組織

### (1) 総会

総会は最高意思決定機関であり、年に2回の定期総会と、必要に応じて開催される臨時総会とがあります。総会では、予算及び決算の承認、重要人事、会則の改廃等に関する議案の審議及び決議を行います。

### (2) 幹事会

幹事会は、会務の執行機関であり、幹事長が春秋会を代表します。年度は1月から12月までであり、今年度は、幹事長1名、副幹事長4名、幹事10名、顧問1名の計16名で構成されています。会合は月1回の開催で、時間の多くは各種行事の企画や準備に割かれます。また、総会に議案提出する予算、決算、人事等の審議も重要な事項です。会合終了後は毎回懇親会を開催し、食事をしながら仕事の話や遊びの話の大いに語り合って結束力を高めています。

### (3) 相談役会

相談役会は、会務の運営その他重要な事項について、幹事長の諮問に応ずる機関であり、幹事長経験者、及び日本弁理士会会長、副会長、各支部長の経験者で構成されています。相談役会には定例会はなく、幹事長が必要に応じて召集し、重要な人事や政策についてご意見を伺います。

### (4) 委員会

春秋会は、人事、協議（選挙対策）、政策、研修、広報及び規約の6つの委員会を常設委員会として設置しており、必要に応じて特設委員会を設置します。今年度は、日本弁理士会会長候補を擁立することもあり、会長候補の政策を検討・立案する特別政策検討委員会を特設委員会として設置しています。

## 3. 春秋会の委員会

### (1) 人事委員会（須藤 晃伸 委員長）

人事委員会は、日本弁理士会（関東支部含む）の役員、委員会委員および春秋会幹事長といった重要人事について、幹事長の諮問を受けて、適切な人材配置を検討します。また、幹事長が随時受ける推薦依頼につき、必要に応じて候補者選定に助言を頂い

ています。

#### (2) 協議委員会 (木戸 良彦 委員長)

協議委員会は、日本弁理士会役員の選出について他会派と協議を行うと共に、選挙対策について検討します。選挙期間中は、選挙対策委員会として、選挙運動の司令塔になります。

#### (3) 政策委員会 (大澤 豊 委員長)

政策委員会は、日本弁理士会や日本弁理士クラブからの意見聴取依頼に対応して各種重要政策について検討を行い、答申、提言等を行います。また、必要に応じて、日本弁理士会の政策について春秋会で独自に検討し、意見を発信します。

#### (4) 研修委員会 (松田 七重 委員長)

研修委員会は、会員に向けた研修の企画及び実施を行います。現在は、前年度に作成した研修計画に沿って継続研修を実施することが多く、名古屋と東京をTV会議システムで繋いだ研修会を実行しています。また、それ以外に臨時的研修を行うこともあります。

#### (5) 広報委員会 (河野上 正晴 委員長)

広報委員会は、年に2回の会報「春秋」の発行及び春秋会ホームページの運営を担当します。今年度は、春秋会ホームページをリニューアルしていただきました。

#### (6) 規約委員会 (高城 貞晶 委員長)

規約委員会は、春秋会会則や細則の改正が必要になった場合に、幹事長の諮問に応じて具体的な規定ぶりについて検討頂きます。また、日本弁理士クラブ規約の改正の際等にもその内容について検討をお願いしています。

#### (7) 特別政策検討委員会 (出野 知 委員長)

特別政策検討委員会は、日本弁理士会会長候補を擁立する年度にのみ設置される特設委員会であり、会長候補の政策を検討・立案して頂いております。今年度は、日本弁理士クラブ内での会長候補一本化に向けて、立ち上げ当初から頻繁に会合を重ねて頂きました。

### 4. 春秋会の同好会

春秋会には、会員の親睦を図るための同好会があ

り、積極的な活動を行っています。野球部、テニス部、ゴルフ部、スキー部、ボウリング部、春秋ダイバーズ、オートバイ同好会、麻雀部、句会、カメラ部、レーシングカート同好会、フットサル同好会、ミライノシゴトを考える春秋女子同好会(通称：春秋女子会)等、体育会系、文科系ともに活発に活動し、会員間での親睦を図っています。

### 5. 春秋会の行事

#### (1) 叙勲褒章祝賀会兼新年会

例年、1月末に開催される、叙勲や褒章を受けられた会員をお祝いするとともに新年を祝う会です。年度切替の新旧幹事顔合わせの会ともなっています。今年度は、1月31日に目黒雅叙園で開催しました。

#### (2) 日本弁理士会役員退任慰労・新任激励会

平成29年度で退任された日本弁理士会役員の慰労及び平成30年度から新任された日本弁理士会役員の激励のため、4月6日に明治記念館で開催しました。

#### (3) 旅行会

例年、5月～7月頃に親睦のための旅行会(1泊2日)を開催しています。今年度は、7月21日～22日に静岡県の焼津温泉に行きました。1日目は、宿泊ホテルにおいて、「次年度弁理士会会長候補予定者及び副会長候補予定者による討論会」を開催しました。2日目は、焼津おさかなセンターでお買い物をし、「駿府匠宿」で静岡の味覚を堪能し、絶景の日本平ロープウェイに乗って徳川家康公を祀った全国東照宮の創祀である久能山東照宮を観光する観光コースと、コンペで腕を競うゴルフコースに分かれて楽しみました。

#### (4) 新人交流会

若手会員や会派に所属していない若手弁理士との親睦を図る行事として、8月30日に新人交流会を開催しました。交流会に先立ち、日本弁理士会元会長の佐藤辰彦先生を講師としてセミナーを開催しました。新人交流会は、今年度初の試みとして開催しましたが、多数の若手弁理士に参加して頂き、とても盛り上がりました。

#### (5) 口述練習会

例年、本試と同じ会場で開催しており、受験生に

好評を博しています。今年度は、10月10日にザ・プリンスパークタワー東京で開催すべく準備を進めています。

#### (6) 日本弁理士会役員当選祝賀会

晴れて日本弁理士会役員選挙に当選された会員をお祝いします。今年度は、10月17日に第一ホテル東京にて開催の予定です。会長当選のお祝いの会でもあるため盛り上がりがないわけがありません。

#### (7) 弁理士会試験合格祝賀会

弁理士試験に合格された方をお祝いします。合格祝賀会は華美にせず、合格者が楽しめるように工夫

を凝らした会としています。今年度は、11月下旬に開催する予定です。また、祝賀会と併せて就職懇談会を行う予定です。

#### 6. おわりに

春秋会は、日本弁理士会の健全な発展に寄与すべく、日本弁理士クラブの他会派様と協力しながら、人材輩出や政策提言などにおいて尽力してまいります。これからも春秋会をどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上

---

---

# 稲門弁理士クラブ

稲門弁理士クラブ幹事長 榎本 英俊

## 1. 稲門弁理士クラブについて

正確な記録は残っておりませんが、当クラブは、大正14年に早稲田大学出身者を会員とする組織として設立されたと聞いており、現在も、早稲田大学及び早稲田大学大学院の卒業生からなる正会員及びメール会員で構成されております。また、近年、弁理士資格を有する早稲田大学職員もおり、数年前からは、早稲田大学の教職員も入会可能となりました。

早稲田大学は、卒業生が例年約1万人程度であることから、早稲田大学の同窓会は、企業、地域、職業、団体等毎に全国で多数存在しており、「稲門」という呼び名は、どこでも早稲田大学の同窓会を表す名称として使用されております。

当クラブは、職業や業界別に組織された職域稲門会の一つとして早稲田大学に正式に登録されており、校友会組織の会長は、早稲田大学の総長選挙の際の投票権等を有する商議員となります。また、他士業においても、弁護士、司法書士、公認会計士、税理士、技術士、社会保険労務士、不動産鑑定士、行政書士等がそれぞれ職域稲門会として早稲田大学に登録されております。

当クラブ主催で毎年12月に開催される早稲田大学出身の弁理士試験合格祝賀会には、大学理事、関係学部の教授、学内TLOの役職者等の大学関係者が出席されます。この合格祝賀会では、出席者全員が早稲田大学関係者のため、早稲田大学応援部の男性リーダーとチアリーダーを呼び、会の最後に、校歌と応援歌「紺碧の空」を全員で歌って締めるのが慣例となっています。

このように、稲門弁理士クラブは、会員全てが早稲田大学出身ですので、会合等の際には、他の会合では殆どしない「早稲田話」もあり、特に、理工学部（現：

理工学術院）の出身の会員が多いため、出身研究室や指導教授の内輪話で盛り上がることもあります。

近年、早稲田大学出身の弁理士試験合格者が例年10名程度であり、そのような少数の中から当クラブに新規入会をお願いするのも一苦勞です。ただ、会派唯一の同窓会的な組織に魅力を感じ、自らの意思で入会する新人弁理士もおりますが、そのような人材の確保が段々難しくなって参りました。

当クラブでは、若手会員の自主性を重んじ、若手で出来る事は、若手主体に企画運営するという体制が出来ており、勿論、重鎮・ベテランの会員には、中堅・若手会員へのアドバイスをお願いしつつ、重鎮・ベテラン会員でなければできない会務をお引き受け頂いております。幹事長として、会務や行事を出来るだけ多くの会員に分担頂けるよう心がけております。

当クラブには、若手も自由に発言できるアットホームな雰囲気十分にあり、若手とベテランがガッチリと噛み合った良い組織であると自負しております。同窓会組織とは言っても、上下関係の厳しさは全くなく、その点では、若手会員にも積極的に活動して貰い易い環境になっております。

## 2. 組織運営

稲門弁理士クラブでは、幹事会を全ての審議決定機関とし、昨年からは、様々なケースやテーマに応じて適宜プロジェクトチームを結成し、より議論を深められる態勢が構築されております。

幹事会メンバーは、幹事長の他、会長1名、副幹事長11名、幹事28名、理事2名、相談役9名の合計52名で構成されており、それぞれ担当会務を有し、各会務を役割分担して行う体制となっております。具体的には、人事、渉外、協議・選対、会員情報管理、



研修、親睦、祝賀会、政策、会計、広報、慶弔の会務が各幹事会メンバーで分担されております。

幹事会は、当クラブでの審議及び機関決定が必要な事項が生じた場合に、必要に応じて定期的に開催され、審議決定を効率良く行えるようになっていきます。また、今年から、幹事会の場所として、早稲田大学の早稲田キャンパス内の校友サロンも使用し、“母校に帰っての幹事会”も開催することにしました。

なお、2016年度から、それまでの「代表」という肩書が「幹事長」に変更されております。

### 3. 研修会等

今年度は、第1回目として、「標準化と特許を活かすビジネスモデルの基礎」についての研修会を開催しました。今後も研修担当を中心に、多くの方にご参加頂けるような有意義な研修会を企画する予定です。

また、弁理士試験の論文試験の合格者に対し、口述試験練習会を行っております。当クラブの会員は、早稲田大学出身に限定されていることから、早大出身の論文試験合格者のみ申し込みを受け付けております。ところが、合格発表では、早大出身の合格者を把握できませんので、当クラブのホームページのみで広く告知をしておりますが、例年、論文試験の合格発表日の直後から早大出身合格者の申し込みがあります。従って、早大出身合格者を早期に把握することができ、早大出身の弁理士試験合格祝賀会等、以降の案内を個別に行うことも可能になりました。

### 4. 親睦

旅行会を毎年1回開催しており、当クラブの旅行会は、夫婦や家族同伴で参加できるようになっています。例年、参加人数が10名程度の小規模な団体旅行ですが、近年、若手会員主体でフレッシュな盛り上がりがあります。また、稲門旅行会では、ちょっとしたトラブルがよく起きますので、これもまた盛り上がりのネタとして楽しい思い出になっています。

旅行会は、これまで国内又は海外で開催しておりますが、この数年は、関東近郊の旅行が多くなっております。昨年は、オプションとしてスキーが可能な冬場に軽井沢旅行を行い、今年度は、鬼怒川温泉を予定し

ています。近年は、若手の参加者を増やすために、費用を抑えた時期を狙い、若手会員の要望に応え、金曜日夜から土曜日の1泊2日で行っております。

### 5. スポーツレク

ゴルフ同好会は、年1回開催されるパテントマスターズに参加しております。

テニス同好会は、このところ、日弁テニス大会や弁理士共同組合のテニス大会に参加することが難しくなり、事実上活動を行っておりません。

ランニング同好会は、近年のランニングブームと、一昨年前から開催されている日本弁理士クラブ主催の各派対抗リレーマラソン大会がきっかけで、有志が集まるようになりました。メンバーは、現在、4年連続で箱根駅伝に出場した元早稲田大学競走部員1名の他に、フルマラソンの持ちタイムがサブ3（3時間切り）1名、同サブ3.5（3時間半切り）1名、同サブ4（4時間切り）数名を擁し、巷の市民ランニングサークルのメンバーに劣らない走力の高いメンバーが揃っております。このため、一般市民ランナーがエントリーするレベルのリレーマラソン大会では、上位に入る力があります。私も、個人的に毎年、当クラブの有志を集め、チームを組んで周回のリレーマラソン大会や公道でのガチな駅伝大会にも出場しています。

このようなスポーツレクを通じた会員間の交流も会の運営には欠かせないことから、会として大切にしております。

### 6. おわりに

新人弁理士の数の増加が一段落し、今後、早大出身の新規合格者が増えないことが想定される中で、当クラブの今後の存続を考えると、一定の条件下で限定的に他大学出身者を入会可能にすることを現在検討しております。とは言え、これまで長い間、早稲田大学出身者のみで構成された組織であり、早稲田大学の校友会（他大出身者が一部含まれていても可）として存続し続けるつもりですので、会員入会資格を緩和しても、早大出身者中心の組織として、これまでの良さは残していきたいと考えております。

# 南甲弁理士クラブ



幹事長 河野 生 吾

## 1. 南甲弁理士クラブについて

南甲弁理士クラブは、昭和3年に先輩方により創立され、今年は創立90周年の記念の年を迎え、会員数は400名を超えております。そして、様々な経歴の会員の協力により、クラブの活動が運営されています。

南甲弁理士クラブの会則には、「会員相互の親睦を深め、意図の統一につとめ、日本弁理士会の活動を円滑にすると共に、弁理士業務の進歩拡充を図ることを目的とする」との定めがあります。この目的を達成するために、様々なイベントを通じて会員相互の交流が図られています。

南甲弁理士クラブは、「遊びの南甲」とも言われます。南甲弁理士クラブの会員は、毎年恒例の旅行会、納涼会等に積極的に参加するのは勿論のこと、先輩後輩の垣根なく夜遅くまで飲み明かす等、様々な場面で親睦を図っています。特に最近では、野球などのスポーツに関する活動も活発に行われています。このような各種の親睦活動を通じて会員相互の一体感が生まれ、それが会務活動に反映されています。

このように、南甲弁理士クラブは、世代を超えた団結力をもって、日本弁理士クラブの一派として日本弁理士会を支えていくことを活動方針としています。

## 2. 南甲弁理士クラブの組織

南甲弁理士クラブは、総会を最高意思決定機関とし、クラブの運営にあたる幹事会、意見聴取機関としての顧問会、独立してクラブの会計監査を行う会計監査委員会により構成されています。

本年度の幹事会は、幹事長、筆頭副幹事長を含む7名の副幹事長、13名の幹事の計21名で構成されて

います。

幹事会には、親睦・研修・普及・情報・広報・人事・政策・協議・海外研修部会の9部会と、東海支部があります。

主な部会と東海支部の活動は以下の通りです。

### (1) 東海支部

川口光男東海支部長、大矢広文東海支部代表幹事をはじめとする東海支部幹事会により、東海地域に密着したきめ細やかな支部活動を行っております。

また、日本弁理士会東海支部にも役員を毎年多数送り出して中心的な役割を担っており、日本弁理士会の東海支部運営に積極的に貢献しております。

### (2) 親睦部会

大塚啓生部会長をはじめとする親睦部会は、会員間の親睦を深めるために、旅行会・納涼会・忘年会を企画・開催しています。

本年度は、6月23～24日に、熱海で旅行会を盛大に開催しました。また、7月14日には、お台場でBBQの納涼会を開催し、会員の家族を交えて親睦を深めました。忘年会は、例年通り12月の第1金曜日(12月7日)に開催する予定です。

### (3) 研修部会

楠和也部会長をはじめとする研修部会は、会員にとって有益な様々な研修会をアレンジしています。

今年は、10～12月に3回の研修を予定しております。

当クラブは「認定外部機関」の一つであり、当研修会に参加することにより単位取得できるようになっています。

### (4) 普及部会

佐々木香織部会長をはじめとする普及部会は、弁理士試験受験者及び合格者を対象とした普及活動を

行います。

本年度は、5月31日に、実務修習を終了して弁理士登録が可能になった新人を対象に、登録祝賀パーティーを開催しました。また、10月1日には口述練習会を開催しました。

#### (5) 情報部会

部会長をはじめとする情報部会は、当クラブのホームページの維持・メンテナンスを行うと共に、会員メーリングリストの管理等を行っています。

#### (6) 広報部会

松田次郎部会長をはじめとする広報部会は、年一回の会報「南甲」と、年数回の「南甲新聞」を発行し、当クラブの活動状況を詳細に報告します。

#### (7) 海外研修部会

千且和也部会長をはじめとする海外研修部会は、年1回海外研修を企画・開催しています。

平成25年度を最後に、活動を休止していたため、今年は久しぶりの開催となり、10月11～13日で中国に行き、2つの特許事務所を表敬訪問する予定です。

#### (8) レクリエーション部の活動

有志が集まったレクリエーション部として、野球部、テニス部、ボーリング部、フットサル部等があります。

野球部は、練習会や試合などの活動を行っています。特に、毎年、パテント杯に出場しており、今年も1回戦を猛打で勝ち抜き、2回戦まで進出しました。

テニス部及びボーリング部は、日本弁理士クラブ主催の大会にチームとして参加しています。

フットサル部は、若手を中心として練習会や試合などの活動を行っています。

### 3. 創立90周年記念イベント

石橋良規実行委員長を中心として、90周年記念のゴルフ大会を6月28日に開催するとともに、式典・祝賀パーティーを7月30日に開催しました。

さらに、「90周年」の冠を付けて親睦イベントを盛大に順次開催しています。

### 4. おわりに

南甲弁理士クラブは、当クラブの独自性を維持しながら、日本弁理士会や日本弁理士クラブの活動に協力し、他会派と協調しながら、国内外の知的財産権制度の発展や、弁理士制度の発展に尽力して参ります。

以上

# P A 会



幹事長 中尾直樹

## P A会について

P A会は、1922年（大正11年）に発足し、96年という長い歴史と伝統に支えられ、会員数は1000名を超えています。これまで、日本弁理士会を支えるべく、会長、副会長をはじめとする役員を多数輩出し、委員会や附属機関の委員も多数送り出してきました。特に昨年と今年は、P A会所属の渡邊敬介日本弁理士会会長を支えるため、“知財広め隊”の活動をはじめとする会務活動に積極的に参加しています。

近年、オープン&クローズ戦略、知財ミックス、価値評価など、多様なコンサルティングへの対応が弁理士に求められる時代になっています。今年は、不正競争防止法、弁理士法などが改正され、新たにデータの利活用や標準化に関する業務も弁理士の業務として位置付けられました。その一方で、わが国では、特許査定件数は増加しているものの、国内の特許出願件数の減少傾向は続いています。このような量から質への転換や国際化が進む環境では、コア業務である出願関係のスキルアップや国際化への対応が求められるのは当然ですが、知財戦略に関するコンサルティングなどの周辺業務のスキルを身に付けていくことも求められます。多様なスキルを身に付けていくためには、情報交換できる弁理士の知り合いを増やすことも大切です。

そこで、P A会は選挙母体であることに加え、研修、イベント、同好会の活動などの会員同士の親睦と情報交換の場を設け、会員の皆様が弁理士として成長できる環境を提供することに力を入れています。

## P A会の組織

### 1) 幹事会

幹事長、幹事長代行、副幹事長、幹事相談役、常

任幹事、作業部会幹事などで構成され、ほぼ月1回開催し、P A会の運営を行っています。

### 2) 総会

例年は年末に開催され、予算・決算の承認などが行われます。また、必要に応じて臨時総会が開催されることもあります。

### 3) 作業部会

①東海支部（小西富雅支部長、前田大輔代表幹事、井川浩文幹事）

東海地方のP A会会員の意見を集約すると共に、親睦などを企画、運営しています。

#### ②人事部会（高橋雅和幹事）

日本弁理士会、関東支部などに派遣する委員の人选、推薦を行っています。

#### ③研修部会（田中秀幸幹事）

力を入れている部会です。新人研修部門、一般研修部門、商標研修部門、国際研修部門があり、充実した質の高い研修を年10回程度実施し、会派外にも案内をお送りしています。研修後に講師の先生を交えての懇親会もあり、研修だけでなく交流の場でもあります。知識と人脈の両方に役立つよう努めています。

#### ④会計部会（鶴谷裕二幹事）

寄付金等の依頼、会派全体の入出金の管理を行っています。

#### ⑤組織1部会（大塚匡幹事）

東京での2回の口述練習会を企画、運営しています。

#### ⑥組織2部会（浜井英礼幹事）

バーベキュー大会、スポーツ観戦会（野球）、クリスマスパーティなど、家族同伴で楽しめるイベン



トを企画しています。

⑦企画1部会（奥泉奈緒子幹事）

総会後に行っている忘年会の企画などを行っています。

⑧企画2部会（谷崎政剛幹事）

旅行会の企画を行っています。今年は、前田大輔部会長（東海支部代表幹事）が中心となって愛知県の知多半島で開催し、海鮮バーベキュー、温泉、ゴルフ、観光などを堪能しました。一部参加者も含めると30名以上で親睦を図りました。

⑨企画3部会（吉田みさ子幹事）

交流カフェの企画を行っています。職場では異性と知り合うことが少ないこともあり、出会いの場として企画しています。プライベートでも充実してもらう企画です。

⑩企画4部会（岩見晶啓幹事）

ホースレース観戦、将棋など、親睦を図りやすい新しいイベントを試行的に行っています。

⑪会報部会（下田俊明幹事）

会報「PA」の編集および発行、ホームページの運営・管理を行っています。

⑫政策部会（林篤史幹事）

日本弁理士会、日弁からの検討依頼に対応し、政策に関する会派の意見を集約、発信しています。

⑬協議委員会（渡邊伸一委員長）

日本弁理士会の役員選挙に関する他会派との協議、候補者選定、選挙対策などを行っています。

⑭庶務1部会（伊吹欽也幹事）

幹事会および幹事会後の懇親会の準備、議事録作成を担当しています。

⑮庶務2部会（佐藤玲太郎幹事）

PA会会員の名簿の管理、メーリングリストの管理などを行っています。

⑯庶務3部会（荒木利之幹事）

PA会会員や日本弁理士会会員の慶弔の作業を行っています。

## PA会の同好会

PA会では、多くの同好会が活発に活動しています。いずれの同好会も、共通の趣味を持つ仲間と楽

しく活動しています。

①ゴルフ同好会（戸塚清貴幹事）

関東近郊での年4回の会派内のコンペの他、会派対向のパテントマスターズなどにも参加し、親睦を図っています。

②麻雀同好会（杉本文一幹事）

年6回、偶数月の第一土曜日に虎ノ門近くの雰囲気の良い雀荘で例会を開催し、楽しんでいます。

③テニス同好会（平山洲光幹事）

日本弁理士クラブテニス大会と日本弁理士協同組合テニス大会に参加し、楽しいテニスを目指しています。

④スキー同好会（鈴木大介幹事）

毎年、1～2泊のスキーツアーを1、2回開催しています。今年は野沢温泉スキー場で楽しみました。これまでには、志賀、柵池、軽井沢、安比、北海道などにも出かけています。

⑤ボウリング同好会（水本義光幹事）

日弁5会派の対抗戦をはじめ、年数回程度のボウリング大会を和気藹々と楽しんでいます。

⑥アウトドア同好会（穂坂道子幹事）

本格的な登山と、街中を気軽に歩く行事を織り交ぜて、楽しんでいます。2018年は山の手線一周、さった峠、燧ヶ岳（ひうちがたけ）、燕岳（つばくろだけ）、高尾山などを楽しんでいます。

⑦囲碁同好会（内海一成幹事）

入門者・初心者歓迎をコンセプトとして活動しています。月1回程度の月例会の他、年数回、棋力別に分かれた大会も開催しています。

⑧野球同好会（中野圭二幹事）

30代前半から50代まで老若男女を問わず、野球好き（練習後のビール好き？）の集まりです。月1回程度の練習会（反省会）を行っています。

⑨フットサル同好会（西田憲孝幹事）

女性を含む60人のメンバが在籍し、月1回、平日の19時から2時間程度の練習や試合、練習後の懇親会を楽しんでいます。

⑩音楽同好会（荒木利之幹事）

初心者から上級者まで様々、ジャンルも様々な40名強のメンバが在籍しています。毎年恒例のライブ

では、この2年程度は約100名の観客を集めています。

⑪ランニング同好会（渡部寛樹幹事）

月1回程度、皇居を中心に活動しています。今後は皇居ランだけでなく、他の企画も予定しています。

**おわりに**

PA会は、これからも他会派と協力しながら日本弁理士会、日本弁理士クラブを支えていきます。今後もPA会をよろしくお願い申し上げます。

以上

# 無 名 会



幹事長 石原進介

## 【無名会とは】

無名会は、大正11年（1922年）に創設され、今年で、96年の歴史を有します。無名会という名前は、老子の著書「道德経」第1章中にある「名無きは天地の始めにして、名有るは万物の母なり」という一節からとられた名であり、無名会創設者（故谷山謙雄先生、故藤田実雄先生、故菊池馨先生、故二代目旦六郎治先生等）によって、キャリア或いは派閥を意識せず、また反骨精神の旺盛な方々のグループを意味して名付けられたということであり（無名会創立70周年誌：藤本博光先生の「開会の辞」より）。

無名会創立90周年特集号「無名」：鈴木正次先生の「九十周年に寄せて」によれば、無名会創設の前年に当たる大正10年には、特許法の大改正があり、弁理士法も公布されたそうです。そして、弁理士法の公布に伴い、弁理士法施行令に基づく弁理士会の設立については、農商務大臣によって30名の弁理士会設立委員が選出され、その中から特別委員（弁理士会会則草案等作成の為）10名を互選したとのこと。そして、この10名の半数位は無名会を作った有志の会の会員であったそうです。

このような、創設当時の精神は、現在も無名会の自由闊達な気風として受け継がれていると思います。

## 「衆知を集めて」

今年度の無名会のキャッチフレーズは、「衆知を集めて」とさせていただきます。

我々の業界は大きく変わろうとしています。第四次産業革命を始め、技術標準化やオープンクローズ戦略、データの利活用などといった新たな知財の制度や戦略などが、我々の仕事と密接に結びついてきております。一方で、出願は量より質の時代を迎え

ており、いわゆる従来からの出願代理業務についても、益々重要性を増しております。特許の分野に限らず、地域団体商標制度や地理的表示保護制度など、様々な制度の知識に加え、産業競争力を高めるデザインの保護などの新たな知財制度の知識も必要になってきています。そして、我々弁理士の業界として、短期的なビジョンではなく、中長期的な将来のビジョンも求められています。我々は職域を国家資格として守られた職業ですが、この先、未来永劫に守られる保証はないのです。いまこそ我々は将来の弁理士という職業のために、行動したり、提言したりする必要があり、それが引いては現在の個々の自分達のためにもなるのだと信じております。そのためには、より多くの方々の知恵を集める必要があると思います、今年度のキャッチフレーズとさせていただきます。

## 【無名会の組織】

無名会には、無名会の役員によって構成される幹事会のもと、研修委員会、企画委員会、人事委員会、政策委員会、福利厚生委員会、会誌委員会、情報委員会、の各委員会が組織されています。また、その他には、会員が自発的に行う同好会も独自に組織されています。

### ①研修委員会（林 司 委員長）

研修委員会は、実務に関する研修をはじめ、会員に対して様々な研修の場を提供する委員会です。研修委員の方々が考えた研修内容は、実務に役立つ内容は勿論、弁理士会や他の会派が開催する研修とは異なった切り口の内容などもあつたりします。

## ②企画委員会（前田 健一 委員長）

企画委員会は、新年会、若手会、弁理士試験合格祝賀会、日本弁理士会役員選挙当選祝賀会の企画・運営などを行っております。これら行事では、無名会の魅力が存分に発揮されます。

## ③人事委員会（香坂 薫 委員長）

人事委員会は、日本弁理士会及びその支部、日本弁理士クラブへの委員会への無名会会員の推薦を行っています。また、人事委員会は、日本弁理士会の役員選挙に際しても中心的な役割を果たす委員会です。

## ④政策委員会（中 大介 委員長）

政策委員会は、日本弁理士会の諸政策への各種の意見聴取に対して、無名会会員の意見を取りまとめて答申する委員会です。また、政策委員会の委員長は、日本弁理士クラブの政策委員会の委員を兼ねることになっております。

## ⑤福利厚生委員会（村雨 圭介 委員長）

福利厚生委員会は、主として、年1回の会員のための親睦旅行会を企画・運営を行う委員会です。今年度は、国内の旅行会を予定しております。海外へも不定期ですが行っております。

## ⑥会誌委員会（亀山 夏樹 委員長）

会誌委員会は、年1回の会誌「無名」の編集・発

行を行う委員会です。また、日本弁理士クラブの会報「日弁」の編集・発行の一翼も担っています。

## ⑦情報委員会（竹山 尚治 委員長）

情報委員会は、無名会HP、無名会Facebook、無名会メーリングリストの運営・維持管理を行う委員会です。無名会Facebookなどは、ちょくちょく更新しています。

## ⑧研修会・同好会

上記の委員会活動とは別に、特許判例研修会や意匠・商標判例研修会があり、また、ゴルフ同好会、テニス同好会、ボウリング同好会、麻雀同好会、ワイン同好会やランニング同好会などがあります。

## 【さいごに】

無名会は、現在約270名の会員数であり、会員数の大きな会派ではありませんが、大変活発で楽しい会派です。無名会の最大の特徴は、年齢や経験を過度に意識することなく、率直な意見を言うことのできる風通しの良い雰囲気にあると思います。日本弁理士クラブは5つの単位会派によって構成される連合体であります。無名会は、各派と協調しつつ意見を言うべきときはしっかりと意見をし、また、判断をしなければいけないときは是々非々で判断をし、日本弁理士クラブを微力ながら支える所存です。今後とも無名会をよろしくお願い申し上げます。

以上